

京城日報

刊 夕

日 五 十 月 十 年 二 十 一

第 一 千 九 百 九 十 九 號

社 會 部 設 於 本 報 社

電 報 掛 號 〇 〇 〇 〇

電 話 掛 號 〇 〇 〇 〇

代 理 處 設 於 本 報 社

分 代 理 處 設 於 各 大 商 埠

本 報 社 址 設 於 本 報 社

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

本 報 創 始 於 一 八 八 〇 年

政府は飽迄 拓殖省を新設す

明年年度豫算に百萬圓 を計上する事に閣議で決定

三千百卅五萬圓

決定した各省整理額

「東京電」十三日、閣議で、拓殖省の新設に關する豫算案が通過した。この豫算案は、明年年度の豫算に、拓殖省の経費として、百萬圓を計上する事を決定した。この豫算案は、各省の整理額として、三千百卅五萬圓を決定した。この豫算案は、各省の整理額として、三千百卅五萬圓を決定した。

松島事件被告 五名を控訴

金山檢察正から控訴申立

「東京電」十三日、金山檢察正は、松島事件の被告五名を控訴した。この控訴は、被告五名の控訴を撤回した。この控訴は、被告五名の控訴を撤回した。

新規公債 一億圓

は下るまい

四年度から 地租を移譲

政府方針を決す

日比無線連絡

一般電報も扱ふ

除名者續出

トロッキの

石家莊は 奉軍確實に占領

山西軍は山地方面に逃ぐ

戦死一萬 捕虜數千

定州の大合戦

叛亂起る

南部ロシアに

印度の志士 ブラタツ

来朝す

宣化を 捨て、退却

京綏の山西軍

日本新聞協會 東京で大會

十一月廿六日

楠瀬中將 十三日夕逝く

東京電

鮮滿視察團 大連に到着

十一月十四日

對山録

十一月十四日

あすの天気

十一月十五日

晴一時曇

十一月十五日

仁川潮表

十一月十五日

油醬

十一月十五日

級高

十一月十五日

達用御省內宮

十一月十五日

念紀命拜

十一月十五日

劍俠艶魔

渡邊武雄

林味扇金

吉住 辰夫

印度の志士

来朝す

宣化を

捨て、退却

日本新聞協會

東京で大會

楠瀬中將

十三日夕逝く

對山録

十一月十四日

あすの天気

十一月十五日

晴一時曇

十一月十五日

仁川潮表

十一月十五日

油醬

十一月十五日

級高

十一月十五日

達用御省內宮

十一月十五日

景品大賣出

御近所の食料品店で御買求め

期 九月十日 間 十月十日

天奉。城京 所造釀屋嶋

（目錄進呈）
 岩瀬寫眞機店
 電話七五五番
 番付八番

△内容見本進呈▽

本誌時即册壹拾四刊既
結完月一十年三和昭

大正一切經刊行會

すまりあに店具文な名菴

總裁 鈴木 嶋吉
大連、瀋陽、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、盤錦、四平街、長春、安東、錦州、錦非村、哈爾濱、柳家河、上野、青島、天津、瀋陽

露印 浦靜斯德
 不國 銀膏
 石ノ外倫號 巴里其他內外國露ノ地ニ發賣引來有之貨
 洋鐵印、鐵通、鐵鉋
 土木建築材料
 角野商店
 朝鮮釜山哈町二丁目

池田鐵工所發動機部

SHITTYRE SPECIALITY

朝韓風土ニ適合セル

丸菱タイヤー

京城市明治町二ノ七〇

マルビシ商會

電話 本局 長四〇〇九番
總發售會 京城二四四五番

長久樂造

專門業

弊店ニ

一切×日本

正しき戀愛の道、美しき夫婦の性愛、人生を悲しむも樂しむも道は唯一つ。性に覺める事。其教科書の締切が來た。すぐ御中込あれ。

內容見本
急送

一冊壹圓廿錢

▼十月以降毎月一巻宛、明年十月より毎月二巻宛刊行▼四
六判一冊三百頁平均、男平天金極上製美本▼會費一時拂

略規
二十一區▼毎月拂は申込金一圓計額、これは最貧層に充てられ、
充てられずは内容は内容見本御参照のと
◆満、鮮、蒙、樺等遠隔の地は特に二十五日迄受付

配本開始

第一卷

羞恥心の進化

鮮 滿 中 外 時 論

日輪一度出て、群星光りを失ひ、王獅一度吼えて、百獸沈黙す、見よ、革新飛躍せる本誌の面目を！

敢ていふ。是れ大陸論壇
の金字塔、鮮満讀書界の
光明瞳

奉天の排日と我等（卷頭言）
牛丸潤亭

國運進展と婦人の覺醒
農家金融私見
社務部長 守屋榮三
商學頭取 和田一郎
法學博士

朝鮮に於ける日本語の將來
大口義生
銀行會社と重役選方針の變更
能勢芳吉
食糧の二大問題と産業政策
元山參

朝鮮の笑話に見れた疾病と療法

鹿角蜂談……太平生

隨筆
賣文堂詭言
狂黎

上等兵の臨終

計は神に如き一兵卒の隆と、それ程機を打たずに出されたる、至極の原
 意は、この一語を通じて、讀者の胸を打たずして居ないし、しかも本編主人
 山脇右兵衛君は、もと京城三中井吳門店員たりし人、ゆかりの地にこの人
 得て讀者の感銘は一入深きものかあらう。

南鮮三泊行
大藏公望さん
牛丸

體育としての柔道……………國寶五郎倉田健之助

婦人の
ページ

女と鏡

中山文化研究所理事
中村久登

皇室に於ける御女性の位置
川村五條

東京印象記朴尙田中初
亞細亞詩脈國人奉恩寺行江口捨

ロシア農民のフオート・秘月玲一
卵生獸の告白 長谷井天鏡

文
明梁旅
鮮山
の
歌丘草之
泊能勢岩

藝
秋に入りてうたへる横矢たけ
若き日のうた天籟蕭

朝鮮開發と金剛山賀田直

特輯 記事 **排日の秘幕を劈き**

(奉天抄) 朝鮮生書 甘波員 奉島抄目

籍に鳴る。萬劫の町に鐘を鳴る。見て、奉大の一角、突如汗開の禍を捲い
出先官の迷望。奉天軍師の精算。南府三民主義の險境。等々、しこ見と

の隙に紛糾した渦中に、底に一人忍びこみ居る。その正體を問ふもや、隠匿されし其の正體を見よ。

稲葉君

朝鮮及朝鮮人

紅茶の人が ほくす内輪話

一年前の騒ぎも
今は只思出の種

「一年の騒ぎも、今は只思出の種」
紅茶の人の内輪話
紅茶の人の内輪話
紅茶の人の内輪話



紅茶の内輪話
紅茶の人の内輪話

張氏の借款申込を 満鐵側で承認す

満蒙交渉具體化の序曲として
一般に重大視さる

張氏の借款申込を満鐵側で承認す
満蒙交渉具體化の序曲として
一般に重大視さる

利下断行で 財界も活氣づく

頗る結構なこと
松本理財局長談

利下断行で財界も活氣づく
頗る結構なこと
松本理財局長談

日支親善の 有力な懸け橋

豆満江鐵橋開通で
大満足の飯田氏

日支親善の有力な懸け橋
豆満江鐵橋開通で
大満足の飯田氏

各省節約額 總計三千萬圓

各省節約額
總計三千萬圓

各省節約額
總計三千萬圓

不可侵 労働間に新 條約を締結

不可侵労働間に新條約を締結
労働間に新條約を締結

露國の出方で
歐亞連絡は成立
會議に出席の寛氏
ゆふべ京城通過

駕にゆられて 金剛山登り

家子郎黨に守られ
大倉喜八郎翁入城

駕にゆられて金剛山登り
家子郎黨に守られ
大倉喜八郎翁入城

駕にゆられて金剛山登り
家子郎黨に守られ
大倉喜八郎翁入城

世界各國の 電話調べ

朝鮮では三
萬千個

世界各國の電話調べ
朝鮮では三萬千個

元山支那領 事務復活

元山支那領事務復活

國債現在高 五十二億圓

九月末のもの

國債現在高五十二億圓
九月末のもの

鮮銀利下 は十五日発表

鮮銀利下は十五日発表

斯界の權威が 象牙の塔へ出る

廿三日來青閣で
博物大講演會開催

斯界の權威が象牙の塔へ出る
廿三日來青閣で博物大講演會開催

朝鮮博物館 會總會

朝鮮博物館會總會

需要旺盛に 鮮内製材盛況

需要旺盛に鮮内製材盛況

漁船保險の 實態調査

漁船保險の實態調査

大株短期引跡

大株短期引跡

各地米米止

各地米米止



大倉喜八郎翁入城
左より大倉喜八郎翁、山口、太田、馬場、山本

大倉喜八郎翁入城
左より大倉喜八郎翁、山口、太田、馬場、山本

内閣の永続性

内閣の永続性は、政治の安定と発展の基盤である。内閣が頻りに入れ替わると、政策の継続性が失われ、国民の信頼も失われる。したがって、内閣の永続性を確保することは、国家の利益に資するものである。

男女の道徳は法的にも對等

横田大審院長談

男女の道徳は法的にも對等である。法律は性別を問わず、すべての国民に適用されるべきである。男女の道徳的責任は、法的にも同等であるべきである。

恒久財源として郵便料金値上

郵便料金を恒久的な財源として活用する。郵便料金の値上げは、国家の財政に貢献する重要な手段である。

英皇帝御夫妻が蘇格蘭にお花賣り

英皇帝御夫妻が蘇格蘭にお花賣りをなさる。英皇帝御夫妻の蘇格蘭訪問は、国民の注目を集めている。

美風を擧げよ

水野錬太郎氏談

美風を擧げよ。美風は国民の精神を鼓舞し、国家の発展に貢献する。美風を奨励することは、国家の利益に資するものである。

身病の疾患と全

川上爲次郎

身病の疾患と全。身病の疾患は、国民の健康を脅かす重大な問題である。身病の疾患を予防することは、国民の健康を守るために不可欠である。

教育的に考察した新児の運動

家庭と環境の重大な

教育的に考察した新児の運動。新児の運動は、教育的に重要な役割を果たす。家庭と環境は、新児の運動に大きな影響を与える。

恒久財源として郵便料金値上

郵便料金を恒久的な財源として活用する。

恒久財源として郵便料金値上。郵便料金の値上げは、国家の財政に貢献する重要な手段である。

恒久財源として郵便料金値上。郵便料金の値上げは、国家の財政に貢献する重要な手段である。

Various small advertisements and notices, including mentions of local businesses and public information.

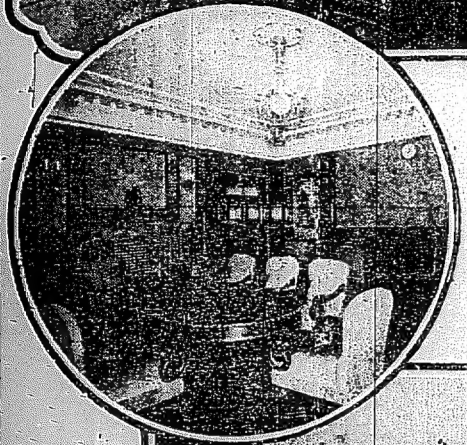
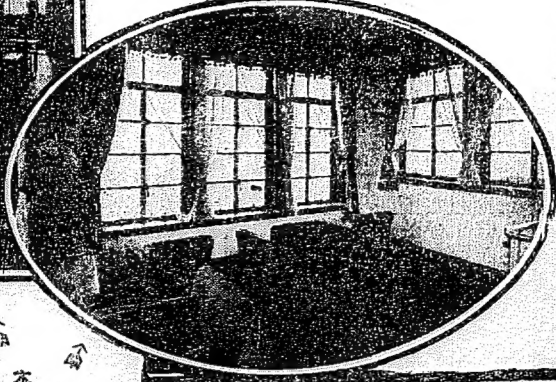
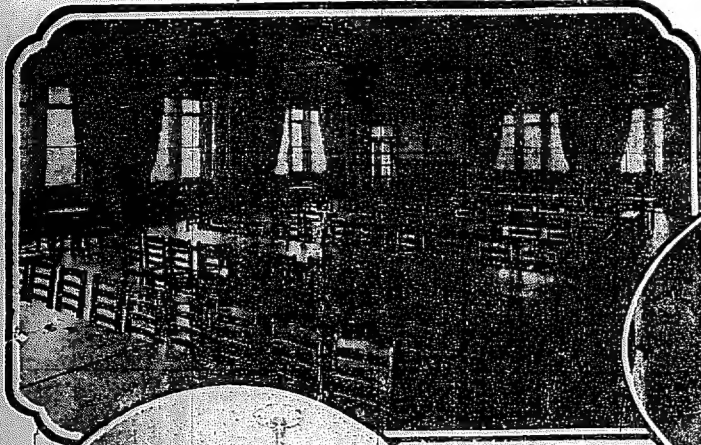
健胃固腸丸 (Gastric and Intestinal Tonic Pills) advertisement. Includes a large illustration of the product box and detailed text about its benefits for digestive health. The text describes how the pills help with various stomach and intestinal ailments, promoting overall health and well-being.

無料宿泊館

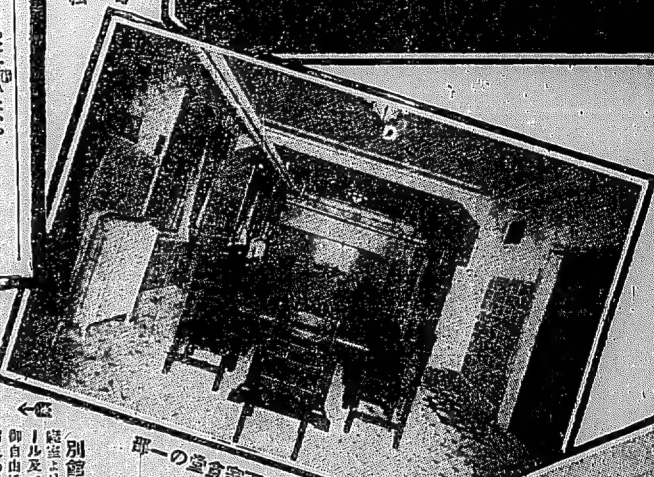
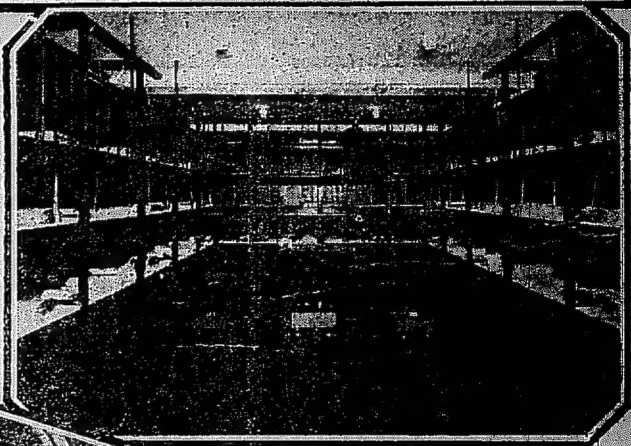
大坂市内二町
有田音松社會部
七九・六九・五九東路

見學の爲めに

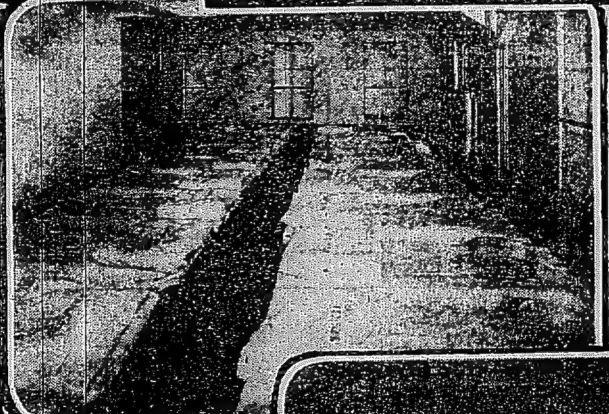
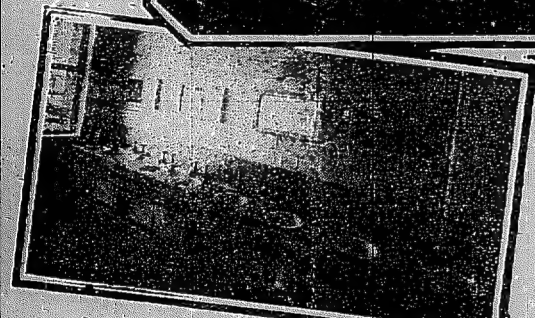
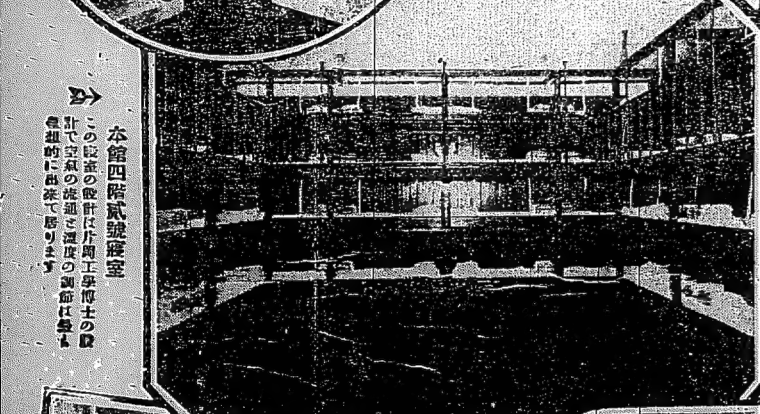
大阪は世界有数の商港であり、その繁栄は、商賈の往来、工業の発達、文化の進歩、とあらゆる方面にわたって、日本を代表するものがある。この大阪の繁栄の背景には、無料宿泊館の存在がある。この館は、大坂市内二町の有田音松社會部にあり、その設備は、見學者の便利を第一とし、大衆の福利を目的とする。館内には、大ホール、小ホール、食堂、浴室、洗濯場、そして見學者のための特別設備が整っている。館の運営は、有田音松社會部の有志者によって行われ、その収入は、館の維持と社会事業に充てられる。この館は、大坂の繁栄を代表するものとして、見學者の多くを魅了している。館の開放時間は、午前八時から午後八時までで、入館料は無料である。館の住所は、大坂市内二町七九・六九・五九東路である。



本館七階展望室
大坂市及び河内川の眺望が
得られます
本館五階大ホール
大ホール、小ホール、食堂、
浴室、洗濯場、そして見學者
のための特別設備が整って
います



本館四階展望室
館内は四階となり、大衆の二
等客室に近づいて居ります。
館内は自由な使用



第一の食堂下地
一階の食堂
大衆の二
等客室に近づいて居ります。
館内は自由な使用



第一の食堂下地
一階の食堂
大衆の二
等客室に近づいて居ります。
館内は自由な使用



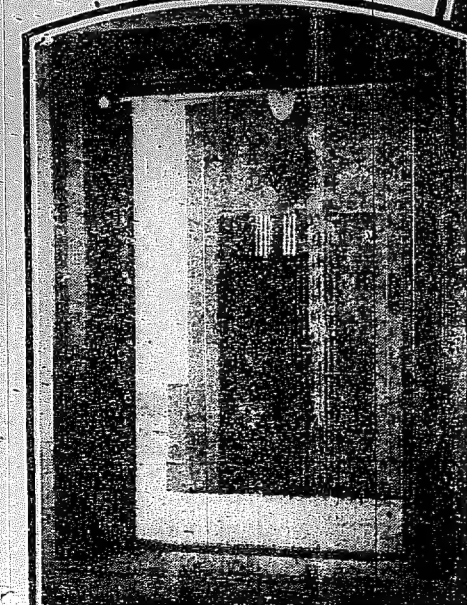
本館四階展望室
館内は四階となり、大衆の二
等客室に近づいて居ります。
館内は自由な使用



別館三階
この階は、見學者の
ための特別設備が整って
います



本館四階展望室
館内は四階となり、大衆の二
等客室に近づいて居ります。
館内は自由な使用



本館四階展望室
館内は四階となり、大衆の二
等客室に近づいて居ります。
館内は自由な使用

紅軍

輸出港を持たぬ
忠南の悲しい歎き

忠南の悲しい歎き
忠南の悲しい歎き
忠南の悲しい歎き

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

朝鮮に給の行脚

朝鮮に給の行脚
朝鮮に給の行脚
朝鮮に給の行脚

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

加藤松林氏も

加藤松林氏も
加藤松林氏も
加藤松林氏も

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

田中首相に贈る

田中首相に贈る
田中首相に贈る
田中首相に贈る

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

第三回朝鮮神宮競技大会

第三回朝鮮神宮競技大会
第三回朝鮮神宮競技大会
第三回朝鮮神宮競技大会

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

肺病全治御禮

肺病全治御禮
肺病全治御禮
肺病全治御禮

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

白軍

増収すると
損する農家経済

増収すると
損する農家経済
増収すると
損する農家経済

